



人権フェスタではゴスペル歌手・市岡裕子さんの講演も

最優秀賞

つたえよう かんしゃをこめて「ありがとう」
小学生低学年の部 古和田 恭平さん

いじめはね 見ているだけでも いじめだよ！
小学生高学年の部 梅原 萌さん

聞き取ろう あいての気持ちと心の声
中学生の部 野々垣 友真さん

市内全小中学校から 人権標語に2300点応募

市は第2回「みんなで創る人権のまち綾部人権標語コンクール」を開催。市内の全小中学校から計2300点の作品が寄せられました。

このコンクールは、次代を担う子どもたちに人権の意味や大切さを考えるきっかけを持ってもらうことなどを目的に実施しました。小学校計1482点(低学年689点、高学年793点)、中学校計818点からそれぞれ8点が入選。11月22日の人権フェスタで表彰・展示したほか、作品はクリアファイルに印刷し、配布しました。入選者は次の

皆さんです。(敬称略)

小学生低学年の部

- 最優秀賞** 古和田恭平(綾部小3年)
- 優秀賞** 横田奏(東綾小1年)
 ▼室垣実果(東八田小2年)
佳作 森本心美(中筋小1年)
 ▼片岡麗李(綾部小2年) ▼井尻英太(中筋小2年) ▼岡本咲愛(綾部小3年) ▼長谷川匠(綾部小3年)

小学生高学年の部

- 最優秀賞** 梅原明(綾部小6年)
- 優秀賞** 植田梨紗(綾部小5年) ▼永本侑愛(綾部小6年)
佳作 東野英一郎(吉美小4年) ▼鎌部穂高(綾部小6年) ▼西岡千尋(綾部小6年) ▼川端佑果(豊里小6年) ▼中野美波(豊里小6年)

中学生の部

- 最優秀賞** 野々垣友真(豊里中2年)
- 優秀賞** 帯刀はるか(綾部中1年) ▼山本暢(綾部中3年)
佳作 上寫鈴菜(豊里中2年) ▼梅原来海(八田中2年) ▼鶴崎ささら(八田中2年) ▼田中綾音(綾部中3年) ▼西野智啓(八田中3年)

年末年始の主な催し

年末年始の市内の主な催しと、各施設の休館、休業日をお知らせします。

FMいかる

76.3 MHz

FMIかる紅白歌合戦!
inあやべ特産館

12月28日 10:00~17:00

あやべ特産館にスタジオを設け、男女対抗FMいかる紅白歌合戦を放送。出店者の商品PRや現地レポートなど特別企画も盛りだくさん!

元旦スペシャル 1月1日 10:00~12:00

藤山(寺山)山頂の元旦国旗掲揚式の様子をはじめ、あやべ温泉や東日本大震災被災地の宮城県亘理町「FMあおぞら」からの生中継も。

あやべ特産館(青野町)

☎(43)0811

年末大餅つき大会

12月28日 10:30~14:00

トチもち作りの達人である水源の里・古屋のおばあちゃんたちがおもてなし。つきたてほやほやの「トチもち」ぜんざいも!



あやべ温泉(陸寄町)

☎(55)0262

スピードくじ抽選会

12月20日~平成27年1月12日

温泉ご入浴の方なら、もれなくスピードくじに参加できます。何が当たるかはお楽しみ!

お茶の湯 12月26日

露天風呂で、効能豊かな緑茶を使った「お茶の湯」を実施。

もちつき 12月27日 10:00~

つきたてのもちで作った、きな粉もちやおろしもち、ぜんざいを販売します。



天文館(里町)

☎(42)8080

ミニサイズの正月飾り作り

12月27、28日 10:00~16:00

竹やワラなどを使い、ミニサイズの門松やしめ縄飾りなどを作ります。時間中は随時受け付け。

本格派!和風作り 1月3、4日 9:00~15:00

和紙と竹ヒゴで本格的な和風作り。凧には好きな絵や文字を書きます。時間中は随時受け付け。材料費は200円。黒フェルトペンと絵の具を持参してください。

市内施設の 年末年始

施設名	12月					1月						
	26 金	27 土	28 日	29 月	30 火	31 水	1 木・祝	2 金	3 土	4 日	5 月	6 火
市役所	開	開	開	開	開	開	休	休	休	開	開	開
クリーンセンター	開	開	休	開	開	開	休	休	休	開	開	開
斎場	開	開	開	開	開	開	休	休	休	開	開	開
図書館	開	開	開	開	開	休	休	休	休	開	開	開
天文館	開	開	開	開	開	休	休	休	休	開	開	休
資料館	開	開	開	開	開	休	休	休	休	開	開	開
あいセンター	開	開	開	開	開	休	休	休	休	開	開	開
上林いきいきセンター	開	開	開	開	開	休	休	休	休	開	開	開
保健福祉センター	開	開	開	開	開	休	休	休	休	開	開	開
市立病院	開	開	開	開	開	休	休	休	休	開	開	開
あやべ健康プラザ	休	開	開	開	開	休	休	休	休	開	開	開
観光案内所	開	開	開	開	開	休	休	休	休	開	開	開
あやべ特産館	開	開	開	開	開	休	休	休	休	開	開	休

善聞 語録



S字曲線

ある講演会での経営コンサルタントの言葉、「まちづくりの進捗は「S字曲線」の如し」——が印象に残っている。座標の横軸に時間を、縦軸に施策の成果を表すと、ローマ字の「S」を下からなぞるように、最初は遅々として向上かないが、やがて急に盛り上がり、最終的に飽和状態になる。また、なかなか進まない時期にはプロジェクトの多くが途中で潰れていくことも付言されていた。

早期の実績や成果が求められるのは政治や行政の宿命であるが、まちづくりには一定の熟成期間を要する現実とは自ずとジレンマが生

じる。功を急ぐあまりの拙速な施策は後世に禍根を残しかねない。

前職時代、破綻寸前の企業の再生に関わった。大胆な人員整理や事業見直しなどを断行すると、売上は一時的に減少するうえ、リストラコストの発生などにより、利益が縮小し赤字も余儀なくされる。企業価値が一時的に下がってから上昇に転じるという意味で、S字どころか「V」字を描くのが事業再生の常とさえ言われている。

今年のノーベル賞受賞者にその道一筋50年という方がいたが、世の中には生涯にわたって光を浴びないままの人も数多い。それでも一途に信念を持って頑張り続けられる源は何なのか。S字であってもV字にしても、反転上昇するまでの苦節を耐え忍べるか否か——。実はここに、まちづくりの成否を分ける分岐点があるのかもしれない。

山崎善也(綾部市長)



(羽生市提供)

お友達がたくさんできたっピー

国内外のゆるキャラ400体以上が集まる「世界キャラクターさみっとin羽生」(同実行委主催)が11月22、23日に埼玉県羽生市で開催され、市のマスコットキャラクター「まゆピー」も参加。ステージ上で綾部市の紹介をしたり、子どもたちと大きな滑り台で遊んだりして、来場者とふれあいました。まゆピーはこれからも綾部市をPRするため、市内外のイベントに参加していきます。

綾部市初の小中一貫校



八津合町の上林中学校敷地内に上林小中一貫校の新校舎が完成。校舎内外に京都府産の木を使い、ランチルームや多目的室も整備しました。中学生は12月から新校舎に移っており、来年4月には小学生も加わって、小中一貫校として開校します。平成27年度には、プールやテニスコートなどを整備する予定です。

788人が力走



上杉町の市総合運動公園を発着点に11月30日、第30回綾部市民駅伝競走大会と第24回綾部市小学生駅伝競走大会(市、市小学校体育連盟など主催)が開催されました。今回は小学生から大人までの男女147チーム、788人が参加。沿道から多くの声援を受けながら、晴天のもとチーム全員でタスキをつなぎました。

泥棒に狙われないように



綾部市安全・安心のまちづくり推進協議会と社会を明るくする運動綾部地区推進委員会は11月25日、西町一丁目のI・Tビルで第10回安全・安心のまちづくり綾部市民大会を開催しました。当日は、防犯アドバイザーの京師美佳さんが講演。泥棒や宅配業者を装った強盗への対処法などを説明し、防犯対策の大切さを訴えました。

個性光る作品並ぶ



市は12月1日から7日まで、青野町の保健福祉センターで障害者作品展を開催しました。作品展は、12月の障害者週間にちなみ毎年実施しているもの。市地域活動支援センター事業の講座受講生による手芸や絵手紙、書道、陶芸など、個性光る作品約480点を展示しました。

初開催 綾部市中学生英語サミット 各校工夫を凝らしプレゼンテーション

中学校の教諭でつくる綾部市学校教育研究会英語部(出野健資顧問・八田中学校校長)は、生徒の英語に対する関心・意欲を高めようと11月28日、「綾部市中学生英語サミット」を市役所で初めて開催。プレゼンテーション(発表)や山崎市長との交流タイムなどすべて英語で行いました。



自作の動画も交え、新校舎の紹介や合気道の取り組みを発表



校舎のつくりや学校茶園などに関するクイズを出題



学校周辺の自然や歴史ある木造校舎など、笑いも交えてアピール

Ayabe's Junior High Schools' English Summit 2014



最後は全員で記念写真 笑顔で「Say cheese!」

Excellent!
すばらしい!



ALT ジェイコブ コウナツサキさん



緊張しながらも部活動や体育祭、文化祭など学校行事を詳しく紹介



学校行事や演劇など体の動きを交えたプレゼンに、参加者も笑顔



学校行事の紹介に加え、生徒会の歌「絆」や「あやべ踊り」を披露

市長と英語で交流も
市内6中学校の生徒代表が自分の学校の特長や魅力などを英語で紹介しました。今回の参加者は英語が好きな生徒や、海外留学に興味のある生徒が中心。会場での会話は主に英語で、苦戦しながらも学習の成果を発表しました。プレゼンテーションでは、内容が伝わりやすいように手を動かしたり、クイズを出したり、さまざまな工夫を自分分の学校をPRしました。続いて行われた山崎市長との交流タイムでは、生徒らが市長に英語で質問。子どもたちの夢や綾部の好きなところ、海外に行くことの大切さなどについて、市長も英語で答えました。
市では英語検定を受ける中学生への費用負担や、市独自の「ミニ検定」の実施など、英語教育に力を入れています。英語サミットは、来年度以降も毎年実施していく予定です。